



情報保障

- 情報保障の技術向上
- いつ支援要請が来ても対応可能な体制の構築



手話

- 日常会話レベルの手話の習得
- 支援対象とコミュニケーションが取れるようにする



広報

- POPの認知度の向上
- 活動を広める
- メンバーを増やす

Instagram

X



@POPMATSUYAMA



聾学校訪問

松山聾学校の学校公開に参加。難聴体験や手話体験、障がいを持つ子どもたちとの触れ合いを通して、今後の活動を考えるきっかけになった。



POPの目標

障がい学生への支援を広げる

実現のための2本柱

- ① 今いるメンバーのスキルアップ
支援のための力をつける
- ② メンバーを増やす
支援ができる人材を増やす

車いす体験



車いすに乗って大学構内を周り、車いすで移動することの大変さを痛感した。



勉強会

障がい学生支援全般に関する幅広い知識を身につけるため、自分で興味があることを調べ、発表する時間を作っている。



式典での情報保障

式典の進行に合わせて文字情報をプロジェクターに掲出していくというもの。数日前から準備を行い、式典に臨む。入学式と卒業式で実施。



今後の課題

技術の継承

一時、メンバーの引継ぎがうまくいかず、存続の危機となった。支援のための技術の継承の必要性を感じた。

支援体制の構築

部員が12名と少なく、今後支援対象となる学生が入学した場合に備えた安定的な支援体制の構築も課題である。